

## 議会報告

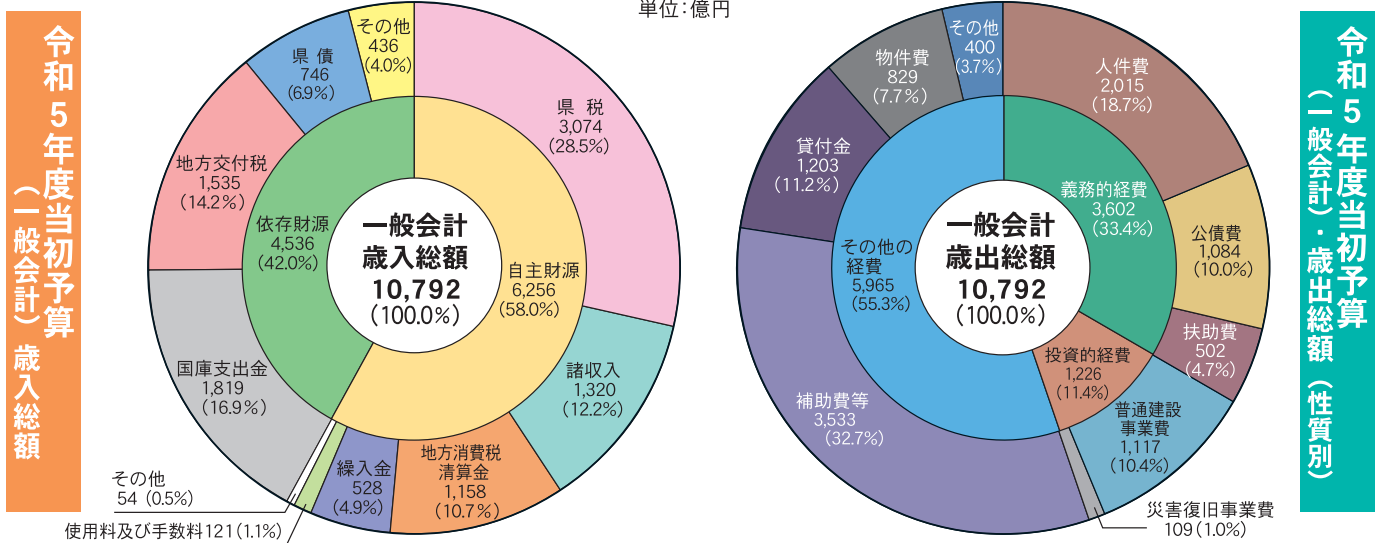
### 2月定例県議会閉会!!

令和5年2月定例県議会は3月17日令和5年度当初予算案(約1兆8百億円)や令和4年度2月補正予算案、こども子育て支援の拡充を求める意見書、宮城県議会議員の政治倫理の確立および資産等の公開に関する条例改正案・議員報酬に関する条例改正案など各号議案についてすべて賛成多数で可決した。条例改正案においては各会派から委員を輩出し検討会を設置。7回にわたって議論を重ね、議員の行動規範及び立場を利用した職員等へのハラスメントの禁止や議員の長期欠席時の議員報酬の支給停止および不支給についての取り扱いなど協議し条例に盛り込まれた。また、仙台医療圏の4病院の統合合築問題に関しては、特に名取の精神医療センターの移転について患者や医療・地元関係者との十分な協議や説明が不足している、移転場所や組み合わせを見直すべき、など議論が交わされた。

宮城野原に設置を目指す広域防災拠点事業については、貨物ターミナル駅移転完了が当初令和2年度としていたが埋蔵文化財の調査、軟弱地盤対策工事の追加、工事の工程精度など理由に延伸を重ね令和11年度となり、広域防災拠点整備完了が令和14年度迄ずれ込む見込みとなった。総事業費についても当初の295億円から324億円まで膨らむことが示されJRや移転先関係者との協議不足、県の事業進捗についての見立ての甘さについて厳しく指摘する声が上がった。

### ◆ 新年度(令和5年度)当初予算 ◆

※裏面に主な事業を掲載



- 1、防災拠点について
- (1) 広域防災拠点  
ヘリコプターの大型離着陸場や、大規模な支援部隊の活動・集結拠点、全国からの支援物資の集積・配送拠点となるほか、災害医療活動の拠点となるなど、全県をカバーする高次の防災拠点となる。
- (2) 圏域防災拠点  
市町村の防災拠点が被災等で利用できない場合等に、支援部隊の活動や物資の集積・配送拠点としての役割を担うもので、平成27年1月に、圏域防災拠点となる施設を県及び市町村が所有する施設の中から7圏域8箇所選定した。

圏域	圏域防災拠点施設	所在地
仙南圏域	蔵王町総合運動公園 第1順位 (B&G海洋センターを除く)	蔵王町大字竹字河原原前1-61
	白石高等技術専門学校 第2順位 (蔵王山噴火時を想定)	白石市白川津田字新寺前5-1
仙台圏域	宮城県総合運動公園	利府町菅谷字館40-1
大崎圏域	大崎市古川総合体育館	大崎市古川旭4丁目5-2
栗原圏域	栗原市築館総合運動公園 (B&G海洋センターを除く)	栗原市築館字荒田沢41-241
石巻圏域	石巻市総合運動公園	石巻市南境字新小堤18
登米圏域	長沼フットピア公園	登米市迫町北方字天形161-84
気仙沼・本吉圏域	旧気仙沼西高等学校	気仙沼市赤岩字牧沢155-1